

■トピック 高等部一般学級キャリア意識調査

保護者アンケート及び生徒の自己評価結果より

高等部一般学級では、やがて社会人になっていく生徒たちに身につけてほしい行動を、具体的な行動目標として「キャリアアップ・チャレンジ5」と呼び、指導しています。年度末に当たり、キャリアアップ・チャレンジ5に関する保護者の皆様と生徒に実施した意識調査結果の概要を紹介します。

キャリアアップ・チャレンジ5

- 1 気持ちいいあいさつ返事
- 2 きちんとした身なり
- 3 ていねいなことばづかい
- 4 時間・約束を守ろう
- 5 そうじ・かたづけ

①保護者アンケート「知っていますか？」～保護者の認知度～

	今年度	昨年度
知っている	32% (↓ 8p)	40%
聞いたことがある	53% (↑ 13p)	40%
知らない	15% (↓ 5p)	20%

「知っている」と答えるなど正しく理解されていない面もうかがえます。昨年度に引き続き、コロナ禍により、実習説明会や実習報告会など、進路に関する行事が中止となった影響があると思われます。

②保護者アンケート「話題にしていますか？」～家庭への浸透度～

	今年度	昨年度
よくある	4% (↓ 2p)	6%
たまにある	51% (↑ 8p)	43%
ない	26% (↓ 25p)	51%

減少しました。学校での指導方針へのご理解が深まった結果ではありますが、依然として、26% (4人に1人) が、「話題にしていない」と答えています。学校と家庭が連携した取組を強化したいものです。

③保護者アンケート「今年一年の成長は？」

	今年度	昨年度
とてもよくなった	35% (↑ 26p)	9%
よくなった	55% (↑ 1p)	54%
かわらない	10% (↓ 28p)	38%

「とてもよくなった」の回答が前年比大幅アップ (26ポイント向上) しており、大変嬉しい結果です。

また「とてもよくなった」「よくなった」を合わせたポジティブ評価は、実に90%のご家庭にのびります。家庭で毎日接していると見落としがちなお子様の成長も、改めて観点別で見ると、確かなものとして実感されたのだと考えます。一年間の区切りの時期に、ご家族からもぜひ「いいね!」「よくなったね。」とほめてあげてください。



④生徒アンケート 自己評価 ～ポジティブ(肯定的)評価の割合は？

次に生徒の自己評価の結果です。生徒にはチャレンジ5の行動の出来具合を4段階で評価してもらいました。このうち、「よくできる」「できる」の回答は「ポジティブ評価」と考えられ、学年別、項目別に下表のようになります。

項 目	1年	2年	3年
1 気持ちいいあいさつ返事	55%	58%	75%
2 きちんとした身なり	91%	75%	88%
3 ていねいな言葉遣い	64%	58%	79%
4 時間・約束を守ろう	82%	71%	75%
5 そうじ・かたづけ	82%	67%	83%
総 合	75%	66%	80%

ます。全学年で6割以上がポジティブ評価、とくに3年次では非常に高い割合でポジティブな評価となっており、本校教育の3年間で、自己肯定感が確実に向上していると考えられる嬉しい結果です。

⑤生徒アンケート 自己評価 ～半年前と比べるとどうなった～

半年前の自分と比較してどう思うか聞いた結果もポジティブ評価が72%にのびります。

	割合
とてもよくなった	28%
よくなった	44%
かわらない	27%

知的障がいのある生徒にとって、このように節目に自己を振り返ったり、家族や支援者から成長と課題についてフィードバックを受けたりすることが特に重要です。ご家族がご感じになった成長と併せて、ぜひ前向きにお話をしてあげてください。

編集後記 今回のアンケート結果からは、学校と家庭の連携の重要性が分かります。よりよい育ちのためには「学校と家庭が目標を共有し協働すること。」「子どもの成長を見つけ確かめ合うこと。」が重要だと実感しました。本年度も「わーく&らいふ」をお読みくださりありがとうございました。 (担当: 高等部 谷口)